

本学の学費に関する基本的な考え方について
東京女子大学在學生、保証人の皆さまへ

これまで本学は「感染者とならない、感染源とならない」ことを第一として対応してまいりました。学内の危機管理委員会において関連部門と連携し、新型コロナウイルス感染症に関する情報収集・集約を行うとともに、国内外にある在學生、教職員等に向けて、感染予防のための注意喚起や必要な措置を決定し、本学公式サイトやメール等で周知を行ってまいりました。

4月7日に政府より緊急事態宣言が発令され、キャンパスにおける教育、研究活動は自粛を余儀なくされるなか、5月5日から前期授業を遠隔授業により開始いたしました。教職員の努力もありましたが、学生の皆さんのご協力により、大きなトラブルもなく進行しておりますこと、感謝しております。

未だ感染の拡大は世界中で続いており、完全な収束まで、今後も十分に注意していかねばならない状況が続いております。こうした中、前期は遠隔授業とすることといたしました。学生一人ひとりの履修科目の違い、遠距離通学、地方からの移動など、大学特有の事情を考慮しての判断となりました。現在も入構制限を継続しておりますが、新しい生活様式に対応し、皆さんの健康と安全を丁寧に確認しながら、今後段階的にキャンパスの再開を行ってまいります。

学費に関するお問い合わせについて

今回の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日常生活が激変しました。皆さんのご家族や関係者におかれましても、健康を阻まれた方、経済的な困難に直面された方も多いことと、心よりお見舞い申し上げます。

大学としても、感染防止のための行動や新たな教育方法への展開を急速に行ってまいりました。こうした中で、2020年度前期学費に関し、学生の皆さん、また保証人の方々から、署名やお問合せをいただきました。また学生アンケートの中でも、様々なご意見をうかがいました。ひとつひとつ、本学への貴重なご意見として、深く受けとめております。

大学における学費は、学位を授与するために必要な教育活動の展開と、教育研究環境の充実のための施設設備の維持・管理のために、4年間の教育に対して必要とされる総額を分納していただいております。

現在の厳しい状況の中で、大学での教育の質と量を確保するために、本学では、以下の対応を行っております。

《前期授業期間について》

前期授業開始を予定していた4月7日より、東京都に緊急事態宣言が発出されました。学生、および教職員の方々の安全を守るため、キャンパスへの入構を禁止いたしました。一方で、どんな状況にあっても責任をもって授業を行うことが大学の使命と考え、遠隔でのオリエンテーションを実施し、準備期間を経て5月5日より遠隔での授業を開始いたし

ました。前期は8月5日まで授業を行い、各科目の成績評価基準により質を伴った単位を授与するための授業期間を確保いたします。

《教育の質保証について》

現在、遠隔授業であっても、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に即した学生を送り出すために、対面による授業と同等の質とレベルを保った教育を行うべく、教職員が全力で取り組んでいます。今後、遠隔授業に伴う困難に柔軟に対応しながら、教育の質を保証するよう丁寧な対応を行ってまいります。

《大学の環境設備維持について》

貴重な文化財建築群を保存し、豊かな緑の美しいキャンパスは、東京女子大学が最良の教育環境として守り継いできたものです。また同時に、最先端の設備も積極的に導入してまいりました。本学では、2018年学科、専攻改組に伴うカリキュラム改定により、情報教育の一層の充実を謳ってまいりました。遠隔授業となった今でも他大学に比べて同時双方向型授業が多いことが特徴となっています。学生の皆さんには、社会構造の変化に対応し、必要となるICT能力の向上が期待されます。このような教育を可能とした設備は、これまで本学で積み上げられた学費により配分され、維持されています。今後、更なる施設の充実を図ってまいります。

本学では、学費に関して、一部返還することは現在予定しておりません。学生への支援は、長期化する新型コロナウイルス感染拡大に伴い、経済的状況の悪化により修学困難とならないことを最優先課題として取り組んでおります。既存の東京女子大学家計急変時の経済的支援枠を拡大し、学外の支援制度の利用とあわせて、ご案内しております。また、学費を所定の期日までに納入できないときには、学費の延納または分納制度を設けております。授業を受けるために必要な通信機器や通信環境を整備するために支援貸付金も用意しております。

さらに、経済的に厳しい状況を抱える学生を支援するため、TWCU SSプロジェクトを立ち上げることといたしました。「誰かのためにできること」を実践し、困難を自らの力で乗り越えようとする学生に、エールを送り、サポートしていきたいと思っております。詳細は今後ご案内してまいります。

今の苦難の時こそ、本学が開学以来、力を入れてきたリベラル・アーツ教育は、一人の女性として自立的な人格陶冶のための基本的な学び・鍛錬として、より重要であると信じています。東京女子大学は、今後も建学の精神であるキリスト教の精神に基づく人格教育により、21世紀の人類・社会に貢献する女性を育てる教育への責任を、強く感じております。

今後も、お預かりした学費を学生の皆さんに資するよう大切にに使わせていただきたいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

学長 茂里一絢